



奉仕しよう  
みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度 国際ロータリー会長  
シェカール・メータ会長



四つのテスト  
一言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか



今年最後の例会 三好正太君の新入会員卓話「造園力」より

例会日：毎週月曜日 12：30～13：30  
例会場：〒860-8535 熊本市中央区上通町 2-1 ホテル日航熊本内  
創立日：昭和 33 年 9 月 1 日（承認昭和 33 年 11 月 24 日）  
会 長：玉田光識 / 幹事 馬場大介 / クラブ広報委員長 / 大津英敬

## 第15回例会記録(通算第 2877 回)

令和 3 年 (2021) 年 1 2 月 2 0 日

斉唱 国歌 君が代  
ロータリーソング  
「奉仕の理想」

来訪者紹介  
ございません

### 今日の例会

#### 【熊本市域 RC 新春合同例会】

- 1 今日の歌
- 2 来訪者紹介
- 3 代表会長・幹事報告

### 今月・来月の行事

- 1/11 新年会&新入会員歓迎会@松葉  
1/29 補助金管理セミナー@ZOOM

### 会長報告 (玉田光識君)

皆さま、こんにちは。本日は第 15 回例会です。そして今年最後の例会となりました。

本日の卓話は新入会員卓話として三好正太さんです。どうぞよろしくお祈りします。

まず、先週の定例理事会の決定事項をご報告いたします。1 月 11 日開催予定の新年会の開催基準（コロナ状況）を決めるのに年末年始が入るために開催の判断を執行部の判断に一任する。次に、現在駐車場の優待がなく来年度も期間延長させて欲しいとホテル側からのお願いを了承すること。最後に事務局の賞与は昨年度同様に支給する。以上の 3 点が理事会にて承認されました。

さて、私事ですが、今年の春に親戚が急死しました。その親戚夫婦に子供がいないため、私が相続手続き等一切を行いました。私の家内がその親戚の世話をしてくれています。仕事ではお客様に相続手続きのお話をするのですが、実際に自分で法務局、市役

所、金融機関、年金事務所等々での手続き、その親戚の相続人2人（高齢者でよく理解できない上に、その夫が何かと口をはさむ）に遺産分割協議書への証明押印のお願いに出向く。とにかく大変でした。急死した本人は苦しむことなく亡くなったのですが、残された家族は大変ですね。やはりある程度の年齢に達したら残される家族へ遺言書出来れば公正証書遺言を作成した方がいいかと思います。相続手続きは全ての方に関係しています。さらに相続税がかかる可能性がある財産をお持ちの方は早目に色々な対策をされることをお勧めします。自分のためでもあるのですが、残された家族のためでもあります。

以上、会長報告です。

#### ◆2022-23年度 地区委員委嘱伝達式

- ◇井上雅文君（ローターアクト委員会 委員）
- ◇大津英敬君（公共イメージ委員会 委員）
- ◇園田修司君（青少年交換委員会 委員）
- ◇告坂和紀君（インターアクト委員会 委員）



出席報告（原 裕一君）		
会員数	出席数	出席率
64名	44名	69.84%
出席規定適用免除者 2名		欠席記録免除者 1名
名誉会員 0名(会員数には含まれません)		

#### 委員会報告

##### ●親睦活動委員会(網川 久君)



皆さま、こんにちは。親睦活動委員会より新年会のご案内です。新型コロナウイルス感染症予防対策に十分に気を付け開催します。尚、今回オークションは予定されておりませんが、野田和宏会員の歓迎会も併せて行います。是非多数のご参加をお待ちしております。

（詳細は下記のとおり）

【日 時】 2022年1月11日（火）18：30～

【場 所】 松葉

【会 費】 10,000円（後日請求）

#### 幹事報告（馬場大介君）

1. RI 第2720地区 堀川貴史ガバナーエレクトより「2022-23年度 地区委員委嘱状」が届いております。
2. 姫路南 RC より11月週報が届いております。
3. 今年の例会は本日が最後です。12/27（月）「定款に基づき休会」、1/3（月）は1/7（金）「熊本市域 RC 新春合同例会」に振替、1/10（月）「祝日のため休会」、次回は1/17（月）12：30～の予定です。ご注意ください。

#### 例会変更のお知らせ

○西 RC～定款に基づき休会

[日 程] 1月11日(火)12:30～

○西南 RC～親睦会のため日程変更

[変更前] 1月13日(木)12:30～

[変更後] 1月14日(金)18:30～

○中央 RC～定款に基づき休会

[日 程] 1月14日(金)12:30～

○西 RC～親睦会のため時間場所変更

[変更前] 1月25日(火)12:30～

[変更後] 1月25日(火)19:00～

[場 所] 満潮

##### ●スマイルボックス(林田公治君)



○玉田光識君・今村浩昭君・馬場大介君・園田修司君  
網川 久君・北口 誠君

本日は本年最後の例会になります。今年一年大変お世話になりました。よいお年をお迎えください。本日は三好正太会員の卓話を楽しみにしています。

○堀川貴史君

2021年最後の例会となりました。今年も皆さま大変お世話になりありがとうございました。来年も皆さまともども健康で過ごせますように。三好さん、卓話を楽しみにしております。

○永井富士雄君・徳永隆正君・原 裕一君・森本康文君  
松茂信吾君

今年も最後の例会となりました。三好正太会員の卓話を楽しみにしています。皆さま、よい年をお迎えください。

○久峨章義君・後藤 博君

三好君の卓話を楽しみにしています。あまりに楽しみで昨夜は何度も目が覚めました。

○喜讀宣友君

本日の卓話者 三好正太会員の素晴らしいであろう卓話を期待してスマイルします。あまりに貫禄がありすぎて新入会員卓話と思わず慌てて書きました。頑張ってください。

○内田泰生君

本日の卓話者 三好正太会員に心から感謝します。

○川崎 博君

コロナ禍の一年を何とか乗り切ることができました。皆さま方のおかげです。感謝のスマイルをします。

○濱崎剛自君

本日は所用のため早退させていただきます。今年最後の例会になりますが、大変お世話になりました。皆さま、どうぞよい新年をお迎えください。

○齊藤直信君・沼野修一君・谷口英樹君

今日は所用のため早退しますので、お詫びのスマイルです。

○林田公治君

今年最後の例会となりましたが、たくさんのスマイルをありがとうございました。来年も引き続きよろしく願いいたします。

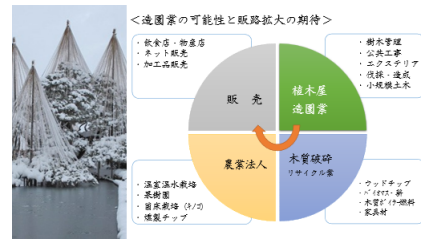
●新入会員卓話 (松茂信吾君)

「造園力」について

三好正太君



<造園の業務内容>  
 型定・造機 【管理】 植栽・移植・石工 【作業】 伐採・伐根・空移 【造成・リフォーム】 カーポート・ブロック・テラス 【エクステリア】



【例会予定】

- 1/10 (月) 祝日のため休会
- 1/17 (月) 外部卓話 小野友道様 (県 R 奨学会)
- 1/24 (月) 調整中
- 1/31 (月) 調整中

■RI ニュース (国際ロータリーHP より)

「ウガンダの若手活動家が気候変動について声を上げる」



ウガンダ出身の 24 歳の気候変動活動家、ヴァネッサ・ナカテ氏は、ダボス (スイス) で開催された 2020 年世界経済フォーラム後に国際的な注目を集めました。しかし、話題になったのは、彼女が気候危機について語ったことではなく、ダボス会議の報道から彼女の名前と写真が消えていたことでした。ナカテ氏は、『タイム』誌の 2019 年パーソン・オブ・ザ・イヤーを受賞したグレタ・トゥーンベリ氏を含む 5 人の若い気候変動活動家の一人として、世界経済フォーラムでの記

者会見に参加しました。しかし、AP 通信が世界の報道機関に公開した写真には、欧州から参加した4人の活動家だけが写っており、唯一の黒人の気候活動家であるナカテ氏の写真は取り除かれていました。これに応じて作成したビデオが話題になり、ナカテ氏はそれ以来、気候変動の動きの中で「聞かれない声」を伝えることを自らの使命としています。彼女は、著書『A Bigger Picture: My Fight to Bring a New African Voice to the Climate Crisis』（11月2日発売）の中で、次のように語っています。「あの写真から切り取られたことで私は変わりました。気候危機や人種差別について人びとが直面している事柄を、より大胆かつ直接的に語るようになりました。（中略）若いアフリカ人女性としての視点から、気候危機、環境正義、ジェンダー差別など、さまざまな要素が絡み合っている問題にできるだけ多くの時間を割こうと決めました。弁解などせず、消されることも恐れずに行動しようと思ったんです」

ナカテ氏は、実体験を語る声は存在するのに、耳が傾けられず、伝え広められることもないと主張します。「ケニアやインド、南アフリカなど、仲間の活動家たちが各国でどのような課題に直面しているのか、私は完全には把握していません。ジンバブエが水危機に直面していることは知っているかもしれませんが、現地の活動家と話をするまで、水がどれほど貴重なものか分かっていませんでした」ここ数十年間の世界の二酸化炭素（CO2）排出量に占めるアフリカ大陸の割合はわずか3%ですが、アフリカの人びとは深刻な影響を受けています。ナカテ氏の故郷ウガンダでは、洪水、地滑り、干ばつが発生し、東アフリカではイナゴの大量発生によって食料資源の枯渇が生じています。湖の増水は水資源を汚染し、ほかの湖では50年前の10分の1に規模が縮小するという問題が起きています。「一部の人びとが置き去りにされたら、気候における正義は成しえませんが、正義は成り立たないでしょう」ナカテ氏は、長年のロータリー会員である父ポール・ムガンベ氏の影響を受けながら、気候問題のリーダーとしての道を歩んできました。ムガンベ氏は、2017-18年度にブゴロビ・ロータリークラブの会長として、第9211地区（ウガンダとタンザニア）で木を植える5年間のプロジェクト「ミッション・グリーン」を調整支援しました。「プロジェクトリーダーとして活動する父の姿を見たことが、変化の声を上げることへの原動力となった」と彼女は「Rotary」誌に語っています。「父の勇気と行動力に触発されて、私も自分の声を見つけ、自分が大切だと信じるもの、社会に必要なとされるもののために立ち上がるようになりました」

カンパラ（ウガンダ）のマケレレ大学で経営学の学位を取得したナカテ氏は、この植樹プロジェクトに刺激を受け、自らも環境プロジェクトに取り組むことを決意しました。彼女は人びとが直面している課題を調べていくうちに、その多くの核心に気候変動があることを知って驚きました。そして、グレタ・トゥーンベリ氏がスウェーデンで始め、世界的運動となった「未来のための金曜日」の一環として、ナカテ氏は2019年1月、気候変動対策を求めてカンパラで抗議活動を始めました。ナカテ氏はその後、世界的な気候変動の議論で「アフリカの声」を伝えるための「Rise Up Movement」を立ち上げました。草の根レベルでは、学校にソーラーパネルや環境にやさしい調理台を設置する活動も行っています。

ナカテ氏は、ロータリーのプロジェクトに地元の声を取り入れることの重要性を強調します。そうすることが、アカウントビリティの確立、地域社会の積極的参加、そしてプロジェクト完了後の活動の継続につながります。「地域社会を参画させることで、人びとはプロジェクトの恩恵を受けるだけでなく、その活動についての知識を得ることができます。そうすれば、プロジェクト後も活動を管理し、地域社会を支え続けていくことが可能となります」

「自分が使えるツール（フェイスブックなど）を使って気候危機への認識を高め、活動を紹介していこう」と、ナカテ氏はロータリー会員に呼びかけています。「すべての活動家には語るべきストーリーがあり、すべてのストーリーには解決策があり、すべての解決策が人生を変えることができる」とナカテ氏。彼女はまた、活動家が各地で行っているプロジェクトを支援することも提案しています。「どれほど小さなプロジェクトや活動でも問題ありません。私が何かをして、あなたが何かをして、ほかの人も何かをする。そうして何百万人もの人が地域での活動を支えれば、世界を変えることができるのです」

注目すべきは、気候危機の影響を特に受けているのが、娘や女性であるというナカテ氏の指摘です。一部の国では、気候変動によって家族が被災すると、男児の学業が優先され、娘は退学を余儀なくされます。すると、娘の早期結婚のリスクが高まります。また、家族のために食料や水を得ようと長距離を歩く結果、病気や性暴力の危険にさらされることになります。

「ここに、ロータリーが存在し、行動人となる意義がある」と、ナカテ氏は2021年ロータリー国際大会での講演で述べました。「四の五の言わずに、行動を起こしましょう。今日、始めるのです」